



さんぽみち

2022年2月1日

第90号

■発行者
兵庫県立リハビリテーション中央病院
〒651-2181
神戸市西区曙町1070
TEL (078)927-2727
FAX (078)925-9203
<http://www.hwc.or.jp/hospital>

リハビリテーション・ケア 合同研究大会兵庫2021について

院長補佐兼診療部長 大串 幹

皆様こんにちは。いつも兵庫県立リハビリテーション中央病院を応援・支援いただき、本当にありがとうございます。当院は、兵庫県におけるリハビリテーション医療の中核施設ですが、総合リハビリテーションセンターの一員として、福祉、生活のケアや介護予防、地域リハビリテーションにも注力しています。全国規模の研究大会である「リハビリテーション・ケア合同研究大会兵庫2021」を2021年11月18日(木)～19日(金)の2日間、ANAクラウンプラザホテル神戸を会場に当院名誉院長の澤村誠志先生を名誉大会長に、当院院長補佐で兵庫県地域リハビリテーション支援センター長の**大串幹**を大会長として開催いたしました。本研究大会は、一般社団法人日本リハビリテーション病院・施設協会他主催の5団体が合同で例年開催しておりますが、昨年はCOVID-19のために中止となり、2年ぶりの開催でした。全国の病院、診療所、在宅サービス事業所、介護施設、福祉施設、行政機関など多方面から多くの専門職、現地、WEB半分半分で約1500名が参加されました。

国の施策としての地域包括ケアシステムが高齢者だけでなく地域共生社会へと拡大シフトチェンジに進みつつある今、顔の見える関係を基盤として、多くの団体・組織・専門職の参画が求められています。これらの潮流をとらえ、大会テーマを「Let's integrate! ～リハビリテーションの心・技・体～」といたしました。「integrate(インテグレート)」という言葉は、「統合する・まとめる」という意味と共に、「積分する・積み上げる」という意味を含みます。すべての医療は地域で、そしてすべてのリハビリテーション・ケアも地域で実践されています。レジェンドが積み上げてきた実践に基づく理念(心)、様々な人と協働するスキル(技)、それらを実践するフィールド(体)の三位一体により、この未曾有の時代においてこそ、これまで積み上げてきた力を融合・統合し、困難に負けない地域力を目指す時であるというテーマです。澤村誠志名誉大会長により、地域リハビリテーションシステムを各都道府県に広める必要性を考え実践してきた歴史と、将来の日本が取るべき地域共生社会の姿について具体的な展望と方向性が示されました。主催6団体の企画に加え、脳卒中・循環器病対策基本法やがんの地域医療連携などの企画、特に今回はCOVID-19についての企画も多く、抑え込まれた地域包括ケアシステムを再活性化するための方策や実践例が、講師らによって示され、参加者は実践的アイデアを持ち帰ることができたのではと思います。

本研究会は多職種にわたる大規模学会であり、開催まで数年にわたり準備を行ってまいりました。長期にわたり開催まで温かく見守ってくださった、当院、総合リハビリテーションセンターのスタッフの皆さま、なにより当院を利用いただく皆様のご理解の賜物と心より感謝申し上げます。当院に求められているものは、エビデンスに基づく最良のリハビリテーション医療の提供です。しっかりと継続して信頼にお応えできるよう、尽力したいと思います。今後ともご指導ご支援のほどよろしくお願いいたします。



障害者病棟 院内デイの紹介

看護部



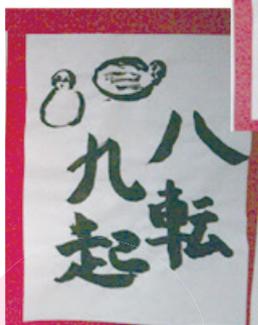
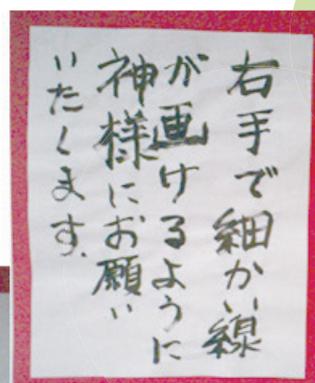
障害者病棟の4階西病棟では、脳神経内科の入院患者さんが8割弱を占めます。毎週水曜日に院内デイを開催し、懐かしい音楽を聞きながら楽しいひと時を過ごしていただいています。感染対策上、デイルームの使用が停止となり、患者さん同士で団らんする機会が持てなくなった今、感染に気をつけて、看護師見守りの元少しでも楽しんでいただこうと、看護師一同がんばっています。

神経難病では神経後遺症を残すことが多く、療養生活に不自由、困難をきたしている場合が多いです。在宅で生活していても調子が悪い、薬物コントロールやリハビリの必要があるといった方に入院して頂き、うまく動かせなくなった体を使うトレーニングをします。同じような悩みをもった患者さん同士で、作品を作ったり、昔話をしたり、ゲームをしたり…。

このような活動は身体だけでなく、心も元気にしてくれ、水曜日を楽しみにして下さる患者さんが増えています。



季節を感じる作品



人生を 芸術で語る



あなたはお薬手帳を お持ちですか？



お薬手帳はいつ・どこで・どんなお薬を処方されたかを記録しておく手帳のことです。医療機関を受診した時、医師や薬剤師に見せてください。

薬剤部より

名前の違う同じ成分のお薬・飲み合わせ・重複などが確認できます！



手術や検査の時に中止するお薬の確認や副作用の出たお薬を伝えることができます！



急病で救急外来にかかる時や災害時に使用中の薬がわかるのですぐに対応ができます！



病院・薬局ごとに手帳を分けてしまうと
必要な確認ができなくなるため

1冊にまとめましょう。



患者教室のご案内

※入院患者のみ対象
10名限定

生活習慣病を学ぼう会 時間 14:00～15:30

◆令和3年度 第Ⅳ期

開催日	テーマ	講師
令和4年2月9日(水) 中央病院2階 第2・第3研修室	糖尿病 -治療編- 運動療法 正しい薬の飲み方	内科医師 薬剤師部
令和4年2月16日(水) 中央病院3階 カンファレンスルーム	糖尿病 -治療編- 日常生活のケア 食事療法	リハビリ療法部 栄養管理部

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、中止又は場所、日時、内容を変更する場合があります。

入院支援について

地域医療連携部では2018年の診療報酬改定時に新設された「入院時支援」に対応するため、予約入院の患者さんへ入院前の支援を行っています。支援内容は主に

- ① 入院に際してのオリエンテーション
- ② 褥創や栄養状態についての確認
- ③ 利用しているサービスの確認

の3点が挙げられます。ほかにも薬剤部では服薬内容の確認、スクリーニングも同時に行っており、主に変形性関節症の手術予定の患者さんや、神経難病などの予定入院の患者さんを対象としています。

①と③に関しては地域医療連携部の医療ソーシャルワーカーが主に担当させていただいています。過去に入院歴のある患者さんが、数年ぶりに入院されることになった際には③の利用状況が変わっていることも多く、入院中にどういった退院支援を行っていけばよいのか、入院前から予め支援計画を立てる目安になっています。また初めての入院になる患者さんに対しては入院案内に沿って説明を行っており、入院に際しての持ち物や留意点の案内、入院費用に関する相談など多岐にわたる支援を行っております。

②に関しては、連携支援看護師が担当させていただいています。手術やリハビリに影響する栄養状態把握に関連して、直近3ヶ月の体重の変化や義歯の有無、腹水の有無等について質問させていただいております。ご自宅での活動の自立度についても、具体的な例を挙げながら質問させていただいております。また、入院生活において、不安なこと気になることがあれば、この説明の際に質問いただければ結構かと思っております。

当院に入院いただく皆様の気になること、不安なこと、心配なことが少しでも解消できるようサポートさせていただければと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。



第一回中央病院患者さん 川柳

令和3年11月7日から12月20日まで当院の入院患者さんを対象に川柳を募集し、17名38作品のご応募をいただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。その中から、中央病院広報委員会において5作品を選出し、各賞は左記のとおり決定させていただきました。

金賞

さよならと ありがとうさんの

グータッチ
ニックネームなし

銀賞

マスク顔 久しき友の 名前出ず

明石のタコ

銅賞

同じ事 出来て幸せ 家路へと

M²

銅賞

自慢気に オレも私も 手術痕

ヒロコ

銅賞

力無き カマキリの様 双手悲しく

悠泉

☆次回の募集を3月頃予定しております。たくさんのご応募お待ちしております。

中央病院広報委員会